



聖ペトロ・聖パウロ

カトリック延岡教会

令和5年1月

ST.Peter & ST.Paul Nobeoka Catholic Church

〒882-0825 宮崎県延岡市須崎町4-3 ☎0982-32-6501◇FAX0982-20-4640◇HP[www.nobeoka-catholic.com](http://www.nobeoka-catholic.com)

No55

延岡教会年間目標「福音宣教に向けて心を尽くしましょう。」

教皇フランシスコ回勅「兄弟のみなさん」を通して

《互いに与え合う》

異なる生活・文化の背景をもつ多様な人々の到来は、贈り物となるのです。なぜならば、「移住者の歩みはまた、人や文化との出会いの物語でもあります。その到着する地域コミュニティや社会にとって移住者は、すべての人にとっての、一層の繁栄と全人的発展の機会」となるからです。そのため、「若者の皆さんにとくにお願いします。自分たちの国に来たよその若者に対抗して、彼らを危険な存在、あたかも彼らには万人が有する不可侵の尊厳がないかのように見せようとするものたちの、策略に陥ってはなりません。」・・・何世紀にもわたって豊かさを生み出してきた多様な文化は、この世界が衰退しないように保持されるべきです。・・・文化の硬化症の犠牲者になってしまうおそれは無視できません。そのために、「コミュニケーションを取り、それぞれの豊かさを発見し、わたしたちを結びつけてくれるものを大切に、すべての人を尊重しつつ成長する機会として、違いを受け止める必要があります。個人、家族、共同体が自らの文化の価値を伝え、他者の経験にあるよいものを受け入れる事ができるように、根気強く、信頼に満ちた対話が必要なのです。」・・・

《実りある交流》

国どうしの相互扶助は、実際に、すべてにとって益となるのです。自らの固有の文化的基層から発展する国は、全人類の宝です。今日では、皆が救われるか、だれも救われないか、そのいずれかなのだという意識を強める必要がある。地球上のどこかでの貧困、悪化、苦しみは、最終的には地球全体に影響する諸問題の静かな温床なのです。特定種の絶滅を憂えるのであれば、貧困や他の構造的制約から、自身の可能性や美しさを発揮できずにいる人や民族が至るところにいる、そのことを気に病んでしかるべきです。その行き着く先は、わたしたちすべて

の貧困化だからです。

・・・わたしたちには、「連帯におけるすべての民族の発展に向けた国際協力を強化し、それを方向付けることの出来る」世界規模の法、政治、および経済の秩序が必要です。それは結局、地球上のすべてに恩恵をもたらします。「貧困国への開発援助はすべての人のために豊かさを産出する」からです。・・・それは「共同的意思決定への貧困国の効果的な参画」であり、そして「貧困と低開発に苦しむ国々の国際市場への参画をより可能にする」ための努力のことです。

《無償で受け入れる》

・・・この問題提起を何らかの功利主義に矮小<sup>わいしょうか</sup>化させるつもりはありません。無償性があるのです。・・・兄弟的無償を生きない人は、自身を強欲な商人に変え、自分が与えるものと、その見返りに得るものをいつも量っています。対して神は、無償で与えてくださいます。・・・「悪人にも善人にも太陽を昇らせてくださる」(マタイ5:45)のです。だからイエスは次のように望まれるのです。「施しをするときは、右の手のすることを左の手に知らせてはならない。あなたの施しを人目につかせないためである」(マタイ6:3~4)。・・・「ただで受けたのだから、ただで与えなさい」(マタイ10:8)。世界中の国々の真の良し悪しは、国としてだけでなく、人間家族として考える事の出来るこうした力で量られるものであり、それはとくに、危機の時代に試されます。・・・移民は差し出すことをしない、ただの強奪者と見られています。このようにして、貧しい人々は危険であるか役に立たない者たちであり、富裕層は寛大な慈善家であるという、おめでたい考えを持つようになるのです。無償の受け入れを備える社会的、政治的な文化だけが未来を得られます。★次号に続きます。

## ミサの案内

主 日	平 日
18時30分～(土曜日):延岡教会 6時20分～(日曜日) :聖心ウルスラ修道院聖堂 9時30分～(日曜日):延岡教会	6時20分～ :聖心ウルスラ修道院聖堂 ★10時～(毎月の初金曜日) :延岡教会

### ◎ミサについて

1. 1月1日(日)、「**神の母聖マリア**」の祭日ミサは、午前9時30分より行います。

★前晚ミサは、お休みとなります。

2. 1月 6日(金) 初金曜日ミサを午前10時から行います。

3. 1月 9日(月) 「**主の洗礼**」の祝日のミサを、午前10時から行います。

4. 1月29日(日)にミサは、「**世界子ども助け合いの日**」となります。この日の献金は、この日のためにお捧げすることになります。

5. 2月19日(日)のミサ司式は、マルコ神父様の司式となります。

※南宮崎教会黙想会のため、主任司祭は不在となります。このため、2月18日の前晚ミサはお休みとなりますので、ご了承ください。

### ◎キリスト教一致祈禱週間について

1月18日(水)から25日(水)までの8日間、キリスト教一致のためお祈りいたしましょう!